

# USHA Japan 第6回議事録

日時:2019年3月16日(土) 17:00~19:30

場所:六甲道 南八幡会館の会議室

出席者:Prakash Acharya、Taranidhi Lohani、Dinesh Neupane、小野、島田、井村(敬称略)

議事 司会 小野

## 1. 神戸・大阪在住のネパール人留学生との交流会について

在日ネパール留学生は専門学校、YMCA、大学と神戸市内には6人のみ。参加を呼びかけるが学生が春休みなので人数が集まらない。3月23日のセミナーは中止し、同じ内容を5月から6月の間に実施する予定。代わりに3月23日はランチョンセミナー「介護における外国人材の受け入れ」の勉強会を実施する。

場所:アンビカダイニング&バー 芦屋市13時から17時まで。

## 2. 新たな外国人材の受入れに関する特養「ときわ」との協働について

3月15日に特養ときわと特定技能について、また今後の活動についての会議を行った。

会議に参加したパル会長、小野理事、井村から説明や討議を行った。内容は以下の通り。

- 1) 特定技能は今年4月から実施するが限定的。4月からはフィリピン、ベトナム、日本のみ試験を実施。特定技能の対象は実施試験国と技能実習生や留学生とし、職種は介護、外食、観光のみ。候補生は日本語検定 N4、現地語での技能試験(コンピュータ方式)をうけ、合格した後、特定技能のビザが発給される。
- 2) 池田理事長が人材派遣社員 Dogwood を設立予定である。ネパールで特定技能に特化した予備校的な教育システムを立ち上げ、継続的に人材の受け入れを行っていきたいと考えている。特定技能の試験対策ソフトウェアの開発や予備校のネット環境を整備し、ネパールと日本でその対策と講義ができる環境を整えるという構想を持っている。
- 3) 池田施設長から4月からネパールでの特定技能試験は実施されていないことから、当面は会社設立準備とネパール留学生で介護分野における特定技能希望者において、人材の育成をしていきたい。本会への要望として、ネパール人の生活支援や日本語学習にたいする支援をお願いする。また、在日留学生で介護分野特定技能への希望者がいないか、調べてほしい。
- 4) ネパールでは、現在のところ試験の実施は未定である。しかし、ネパール国内ではその動向がかなり注目されており、日本語学校に通う学生が増えている。5月1日のカトマンズ市におけるセミナーはタイムリー。しっかりと内容でプレゼンすることが重要であり、現在、パル会長、小野理事、井村で詳細を詰めているところである。
- 5) 4月20日14時から特養ときわで会議を行う。池田理事長、池田施設長と共に特定技能についての今後の活動の会議、5月1日のセミナーの最終確認、施設の見学などを行う。

## 3. USHA JAPAN のカトマンズでのセミナー開催(来年5月1日)について

セミナーのタイトルは未定で、パル会長を中心に考え、知らせる。セミナーへの参加はパル会長、小野理事、金子理事、井村。担当は以下の通り。

司会 Deepshree Media Mr. Deepak

場所 Shiba kuti 日時:5月1日 1時~ 日本語学校学生・看護師・医療関係・学校関係者 約80名

1. 会長の挨拶 (担当:パル会長)
2. USHA JAPAN の活動について(動画) (担当:パル会長・Deepshree Media)
3. 日本を取り巻く介護の状況および外国人材のニーズについて (担当:小野常務理事)  
ネパールの状況について (担当:ライ常務理事)
4. 特定技能一号とは (担当:井村・パル会長)
5. 日本における介護現場の紹介 (担当:井村)
6. 質疑応答
7. 終わりの挨拶 (担当: Dr. ライ)

役割分担

特定技能に関する資料:タラ理事 日本語→英語

USHA JAPAN の活動に関する資料 日本語→ネパール語

参加者の人数の確認は Deepshree Media Deepak さん(カトマンズ在住)を窓口とする。

Deepshree Medeia と一緒にボランティア活動を行う 予算1万円

## 4. 本会の情報連絡網の構築について

- ① メーリングリストを作成する。担当:井上理事
- ② 来年度の総会で改定できるよう、規約の見直しを行う。
- ③ HP を充実させる。活動の写真など随時、メッセージャーなどに UP する。  
HP 上の役員名簿に現在の職業名を記載する。(助成申請に必要)  
記載する職業名を井村まで、連絡する。